



## 国際センター通信 (No. 28)

### 2014年 中国土木水利工程学会(台湾)年次大会参加報告

中国土木水利工程学会（以下 CICHE;台湾の土木学会に相当）の年次大会（2014年12月6～7日）に土木学会の代表として参加しました。会場は南部・高雄市の Garden Villa ホテルでした。CICHE は土木学会との提携歴が最も長い海外学会であり、活発な交流を行ってきました。今回、土木学会からの参加者は土木学会国際センター長上田多門氏（北海道大学教授）、国際センター次長山川朝生氏（日本工営）、国際フォーラム発表者として中村 光氏（名古屋大学教授）、交流グループ台湾担当の Ellen Wang 氏（近代設計）と大内（高知工科大学）の5名でした。



国際センター  
台湾 Gr.リーダー  
大内 雅博

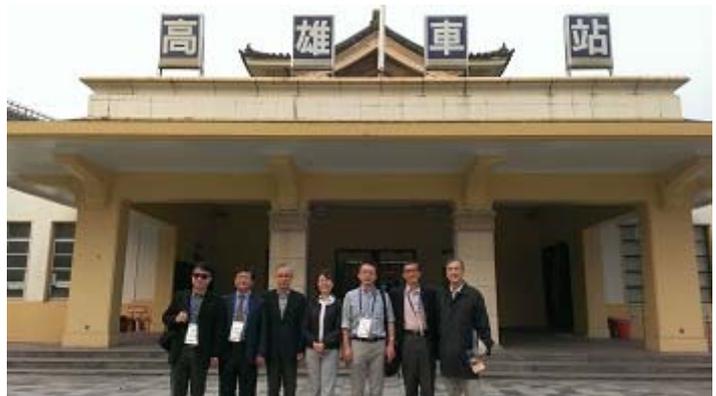


開会式にて呂 良正会長よりお祝いの品を受け取る上田国際センター長(写真-1)

CICHE の年次大会は土木学会の総会と全国大会を合わせたようなものであり、例年11月中旬または下旬に開催されていますが、今年度は11月21日の土木学会100周年記念式典開催のために台湾側が便宜をはかり、開催日を後ろにずらして下さいました。これまでは午前中に総会・特別講演・セレモニー、午後に研究討論会が行われる1日の開催が通例でしたが、今回はもう1日追加して国際ワークショップが開催されました。開会式では、昨年就任した呂 良正会長（国立台湾大学教授）から、土木学会創立百周年のお祝いの品を頂戴し、代表して上田多門国際センター長が受け取りました（写真-1）。

CICHE 年次大会では各研究部門に分かれた論文募集による研究発表会は無く、専ら土木全体に関わるテーマに関する研究討論会が複数同時並行で行われています。例年、その中の一つが英語による国際ラウンドテーブルミーティングでしたが、今回はこれを1日分の行事「土木工学コミュニティの影響と国際化の向上に関する国際ワークショップ」として独立させたものでした。日本、韓国、香港と台湾から合計6件の話題提供がありました。日本からは、中村 光教授による「土木学会の一般社会との関わり方：土木学会をもっと有効にするためには」と、上田多門教授による「技術的および教育的能力の向上のためのアジアにおける国際協力」の話題提供があり、大いに注目を集めて活発な議論が行われました。

12月6日（土）の午後はテクニカルツアーが組まれ、高雄市近郊都市鉄道の地下化・改良工事現場を視察しました。既存の高雄駅を線路と共に地下化しさらに5つの地下新駅を建設するもので、開業中の高雄地下鉄と直角に交差する場所での技術的難度の高い工事です。2017年12月完成予定で大規模な地下掘削が進行中でした。写真-2は視察中に説明を受けた旧高雄駅で、日本が1941年に完成させた（施工は清水建設）ものです。戦後使われることはありませんでしたが、現高雄駅を建設する際に横移動させて保存し、今は鉄道関係を含む展示室として利用されています。



旧高雄駅での集合写真（写真-2）



八田邸庭の外代樹夫人の銅像（写真-3）

翌7日（日）の国際ワークショップで年次大会の行事は終了しましたが、その午後、呂会長以下のご配慮により日本の参加者のために烏山頭ダム周辺の視察をアレンジしていただきました。高雄から高速道路3号線を経由して約1時間の行程でした。嘉南農田水利會で説明を受けた後、八田與一像と記念館を経て、最近復元された当時の事務所と4軒の宿舎（八田氏邸の庭には妻の外代樹さんの銅像が建立）を案内してもらいました（写真-3）。烏山頭事業はすでに広く紹介されているので繰り返はしませんが、八田像には変わらず花が手向けられ、宿舎等が復元されたことでさらに訪れる人が増えているようでした。

CICHEでも今回、烏山頭事業を土木遺産に指定した（日本より遅れたことを残念がっておられましたが）ことで、呂会長としても現場を見たいとの意向ではありましたが、休日にもかかわらず土木学会出席者のために特別の対応をしていただいたことに対し関係の皆さんに深謝する次第でございます。

## 留学生向け現場見学会の開催報告(国際センター留学生グループ)

留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の最先端の土木技術を知ってもらうとともに、土木関連企業に関する情報提供を目的として、2014年12月5日に留学生向け現場見学会を大阪にて開催しました。今回は留学生グループの行事として初の関西圏での開催となり、関西圏の大学に所属する留学生の方々にご参加いただきました。西日本高速道路（株）のご協力を頂き、2現場の見学および5社からの企業説明をしました。参加留学生は20名でした。

### 《見学現場》

- ・西日本高速道路（株）新名神大阪西事務所
- ・箕面トンネル東工事（施工：大成建設（株））
- ・芥川橋工事（施工：三井住友建設（株））

### 《企業説明会参加企業》

西日本高速道路（株）、（株）大林組、鹿島建設（株）、大成建設（株）、三井住友建設（株）

現場見学では、最初に箕面トンネル東工事の施工現場を訪問し、現場で用いられている施工技術に関するプレゼンを受けた後、現在施工中のトンネル坑内を見学しました。トンネル切羽目前まで迫り、大型重機などが設置されている中、参加した留学生たちは活発に質問を投げかけるなど熱心に見学を行いました。

つづいて、芥川橋工事の施工現場を訪問しました。地上20mを越える高架橋の上部に上り、桁の内部からその施工方法や取り入れられている技術に関する説明を受けました。最初に訪問したトンネル現場とは異なる迫りに、留学生たちは圧倒されつつも非常に興味を持った様子でした。

両現場では、留学生として日本の大学で土木を学んだ後、日本の企業に就職し、活躍されている職員の方がおられ、留学生は土木技術を学ぶとともに、現場における苦労など体験談を直接聞くことができました。



箕面トンネル東工事にて



芥川橋工事にて

企業説明会では、今回見学した現場の発注者、施工者を含む、計5社の方々より10分ずつのプレゼンがあり、プロジェクトや業務内容、海外展開等に関する情報が提供され、留学生は熱心に聴講しました。その後、懇談会が行われ、参加いただいた皆様との交流とともに、留学生は土木技術に関する情報や企業の詳細などを収集しました。

今回は、留学生グループとして初めての関西圏での行事開催となりましたが、このような機会に対する留学生の関心の高さを改めて感じる事となりました。今後、留学生グループでは、参加者からのご意見を反映させるなど、開催方法を改善しながら継続的（年1回程度）に開催することで、全国各地の留学生が企業とコミュニケーションできる機会を提供していきます。

最後になりましたが、本行事の開催に多大なご協力を賜りました、西日本高速道路株式会社の三井様はじめ関係各位にこの場をお借りしまして、感謝の意を表します。

【記：国際センター留学生グループ】

## 世界で活躍する土木技術者シリーズ 第3回シンポジウム開催報告

2014年12月3日に土木学会国際センター主催の“世界で活躍する土木技術者シリーズ”第3回シンポジウム「パハン・セラランゴール導水トンネル」を開催しました。

本シンポジウムでは、日本の建設企業による海外大型プロジェクトが、当該国のみならず広く評価されている現状をとらえ、日本の土木技術および土木技術者の活躍を広く知っていただき、また将来の日本を担う若者たちにインフラ整備の意義や海外での仕事などを伝えるため、海外プロジェクトと、そこで活躍する土木技術者の紹介を行っております。

今回のシンポジウムは山川国際センター長代行の開会挨拶に始まり、清水建設の松井雅志氏の進行のもと、前半は基調講演として、本プロジェクトの舞台であるマレーシアにて日本国特命全権大使を務められた中村滋氏によるご講演のほか、本プロジェクトの発注者であるマレーシア政府のエネルギー・環境技術・水資源省の事務次官である Datuk Loo Took Gee 氏からのビデオレターの紹介が行われました。また後半は実際にプロジェクトを遂行された清水建設の北直紀氏、河田孝志氏、松本高之氏、松下文哉氏の4名の土木技術者の方々からプロジェクトの概要をはじめ、受注までの経緯、また東南アジア最長のトンネル工事における様々な難局への対応などについて実際のエピソードを交えながらご講演をいただきました。最後に上田国際センター長より閉会挨拶をいただき、シンポジウムは閉会しました。



ビデオレターの紹介



講演の様子

今回のシンポジウムには120名を超える参加をいただき、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど、たいへん盛会でした。

国際センターでは“世界で活躍する土木技術者シリーズ”として今後も継続的に海外プロジェクトを対象としたシンポジウムを開催する予定としております。

【記 土木学会国際センター】

※掲載報告記事の所属、肩書はイベント開催当時のものです。

## イベントカレンダー

- 2015/2/27・・・建設産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」～世界のコンサルタントに学ぶ～（東京：東大本郷キャンパス）  
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/72>
- 2015/3/27～28・・・第28回アジア土木学協会連合協議会（ACECC）理事会（バングラデシュ・ダッカ）

## お知らせ

- ◆ 土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の website（英語版）にアップしました。  
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No.39 が発行されました。  
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>
- ◆ 土木学会創立 100 周年記念切手が 2014 年 9 月 1 日に発行されました。  
<http://jsce100.com/node/250>
- ◆ 協定学会 European Council of Civil Engineers（ECCE）より書籍「Footbridges- Small is beautiful」が発行されました。日本の歩道橋も錦帯橋を始め 17 点紹介されています。<http://www.ecceengineers.eu/>

## 購読申し込み

国際センター通信購読の申し込みは以下の URL よりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- ・日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- ・英語版：<http://www.jsce-int.org/node/150>

## ◆掲載記事募集します◆

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。文字数は 800 字程度で和文または英文でご投稿ください。

記事投稿の詳細はコチラ>>> (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>)

## 編集後記

歩くときは、だいたい前方を見ているか、空や木々を見ながら歩いています。でも地面を見て歩くことはほとんどありません。ましてや、自分の足の下にある地面がどのように出来ているか考えることは稀です。つい最近、国土地理院が新しい地図情報を確認できるサービスを始めました。スマートフォンからアクセスできます。活断層や液状化しそうな場所が解かるそうです。すごいですね。でも、私は歩く地面をいちいちチェックするのはご遠慮します。さもないと歩けなくなりそうなので。(Y)

【ご意見・ご質問】: JSCE IAC: [iac-news@jsce.or.jp](mailto:iac-news@jsce.or.jp)

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。